

心と魂が通うケア

三郷の小さなつどい 8/18 (土) 13:30～

三郷団市文化会館 参加者30名

自己紹介の後、クリニックふれあい早稲田の大場先生が「スピリチュアル ケア」について話されました。耳慣れない言葉ですが、「心と魂が通うケア」ということで、「してあげるケア」ではなく「ともに歩むケア」でなければいけないという考えです。その人が持っている力を引き出しながら、その人らしい生活を支えるケアが望ましいということです。

話し合いの中では、Mさんから、夫が薬を飲みたがらない、どうしたらよいかという相談がありました。Mさんはつい理屈で説明してしまうようですが、施設のスタッフから「飲むと楽しくなるらしい」とか、明るくなるような声かけをしているそうです。先生からは、工夫して飲んでもらうことが大事ですが、気分が悪くなったりしていないかも、注意する必要があると話されました。Hさんは、最近夫の母が洋服や宝飾品が見えないといっては、責め立てるので、とてもつらくて泣いてしまうということです。アドバイスとしては「私が預かっていますよ」と言うと、安心することもあるので、まっすぐなやりとりだけでなく、そんな対応も考えたらどうかと出されました。

Tさんは、母が始終あちこち痛いと言って、夜も眠らせてくれないので困っているとのことでした。アドバイスとしては、昼にデイケアに行っている間は痛いとは言ってないので、身体がどこか悪いのではなく、娘さんにかまってもらいたい気持ちがあるのではないかと。すぐに薬を飲ませるのではなく、手で優しくさすって上げたりしたら、安心するのではないかとということです。